

公 共

設 計 図 書
(特記仕様書・位置図・業務数量総括表)

2025 年度施行

雨水出水浸水想定区域図作成業務

留萌市

特

記

仕

様

書

一般仕様書

第1章 総則

1. 1 業務の目的

本業務は内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）に基づき、浸水シミュレーションを実施して浸水想定区域図を作成する業務である。なお、本業務に先立ち、整備済み管網のモデル化及び未整備区域における道路排水のモデル化業務（以下、「前業務」という。）を令和6年度に実施している。

1. 2 一般仕様書の適用

本業務は、本仕様書に従い履行しなければならない。ただし、特別な仕様については特記仕様書に定める仕様に従い履行すること。

1. 3 費用の負担

本業務の検査等に従う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1. 4 法令等の遵守

受注者は、本業務の履行に当り関連する法令等を遵守しなければならない。

1. 5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1. 6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知りえた秘密を他人に漏らしてはならない。

1. 7 公益確保の義務

受注者は、業務の履行に当っては公共の安全、環境の保全及びその他の公益を害することのないよう努めなければならない。

1. 8 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当って、発注者の契約約款に定めるもののほか、次の書類を提出しなければならない。

（1）着手時 ・ 着手届 ・ 工程表 ・ 管理技術者届 ・ 職務分担表

（2）完了時 ・ 完了届 ・ 請求書

1. 9 管理技術者及び技術者

- (1) 受注者は、管理技術者及び技術者をもって秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の知識経験を有する技術者を配置しなければならない。
- (2) 管理技術者は、技術士（上下水道部門、総合技術監理部門）又は下水道法に規定された資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的監理を行わなければならない。なお、主要な設計協議ならびに現地調査に出席しなければならない。
- (3) 受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1. 10 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合は、速やかに変更工程表を発注者に提出し、協議しなければならない。

1. 11 成果品の審査及び納品

- (1) 受注者は、成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所はただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務の審査に合格後、成果品一式の納品し、発注者が交付する検査結果通知をもって業務の完了とする。
- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに本業務の修正を行わなければならない。

1. 12 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等との協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく議事録等で報告しなければならない。

1. 13 証明書の交付

本業務の履行に当って必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1. 14 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項は、発注者と受注者双方協議のうえ、これを定める。

第2章 業務一般

2. 1 一般事項

- (1) 本業務の履行に当って、受注者は業務担当員と密な連絡を取り、連絡事項はそのつど記録し、打合せの際に相互に確認しなければならない。
- (2) 業務着手時及び業務の主要な区切りにおいて発注者と受注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

2. 2 適用基準等

業務の履行に当っては、発注者の指示する図書及び本仕様書第3章の図書に基づき行わなければならない。また、基準となる事項については、発注者と協議のうえ、定めるものとする。

2. 3 業務に使用する資料

業務における評価及び計算の根拠、資料等は全て明確にし、整理して提出しなければならない。

2. 4 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な公共下水道事業計画書、設計図書、竣工図書、測量成果、下水道台帳及び調書等の資料を所定の手続きによって貸与する。

2. 5 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その名称を明記しなければならない。

第3章 提出図書

3. 1 提出図書

提出すべき成果品とその部数は次のとおりとする。なお、製本はすべて白焼とする。

(1) 図書名	形状寸法	提出部数
・業務計画書	A4版	1部（初回打合せ時に提出、報告書原本に同梱）
・打合せ議事録	A4版	1部（都度提出、報告書原本に同梱）
・解析モデル及び解析結果	一式（電子媒体にて納品）	
・公表用区域図データ	一式（HP公表用のためPDFで納品）	
・報告書	A4版	原本1部、副本1部
・その他参考資料	原稿一式	

- ・上記図書の電子成果品 CD-R又はDVD-R一式
- (2) 成果品の作成に当っては、その編集方法についてあらかじめ発注者と協議する。
- (3) 製本はすべて表紙、背表紙ともタイトルをつけ、直接印刷したものとする。

第4章 参考図書

4. 1 参考図書

本業務は、次に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

- (1) 雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）（国土交通省）
- (2) 下水道計画の手引き（全国建設研修センター）
- (3) 下水道施設計画設計指針と解説（日本下水道協会）
- (4) 下水道維持管理指針（日本下水道協会）
- (5) 小規模下水道計画設計維持管理指針と解説（日本下水道協会）
- (6) 下水道総合浸水対策計画策定マニュアル（案）（国土交通省）
- (7) 公官民連携した浸水対策の手引き（案）（国土交通省）
- (8) 下水道浸水被害軽減総合計画策定マニュアル（案）（国土交通省）
- (9) 水位周知下水道制度に係る技術資料（案）（国土交通省）
- (10) 内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）（国土交通省）
- (11) 水害ハザードマップ作成の手引き（案）（国土交通省）
- (12) 下水道管きょ等における水位等観測を推進するための手引き（案）（国土交通省）

特記仕様書

1. 1 適用範囲

本仕様書は、前記一般仕様書第1章に定める特記仕様書とし、本仕様書に記載されていない事項は前記一般仕様書による。

2. 1 業務内容

(1) 業務対象範囲

留萌市公共下水道事業計画における計画区域718.5ha

(2) 業務に必要な既存資料

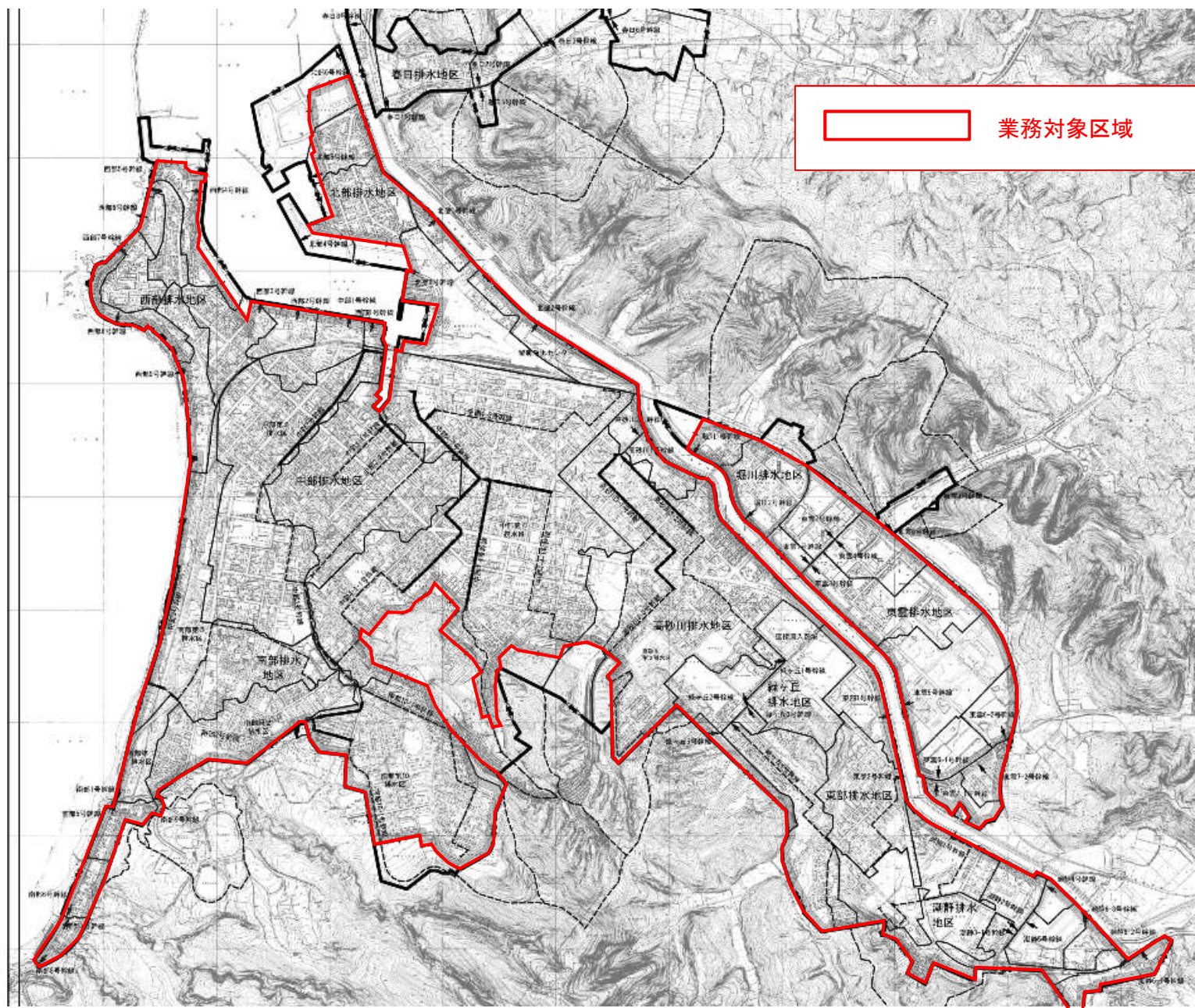
- ・前業務成果品

位

置

図

位置図



業 務 数 量 総 括 表

業務名	雨水出水浸水想定区域図作成業務
-----	-----------------

業務数量総括表

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	業務項目 数量の増減	業務名 雨水出水浸水想定区域図作成業務		
						(当 初)		
						業 種 項 目		
						下水道設計業務		
						下水道計画策定業務		
						摘要		
						名称	単位	数量
下水道計画策定業務		式		1				
雨水出水浸水想定区域図作成		式		1				
雨水出水浸水想定区域図作成		式		1				
雨水出水浸水想定区域図作成		式		1		< 1 式当たり > 氾濫解析モデルの構築	業務	1
						キャリブレーション	業務	1
						浸水シミュレーション	業務	1
						報告書作成	業務	1
						打合せ	業務	1
直接経費		式		1				
直接経費		式		1				
旅費交通費		式		1				
旅費交通費		式		1		< 1 式当たり > 設計（打合せ）協議に伴う交通費（ライトバン使用）	往復	4

業務数量総括表

		業務名	雨水出水浸水想定区域図作成業務			(当 初)	業 種	下水道設計業務		
						項 目	直接経費			
項目・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							名称	単位	数量	
電子成果品作成費			式		1					
電子成果品作成費			式		1					
直接原価			式		1					
その他原価			式		1					
業務原価			式		1					
一般管理費等			式		1					
設計業務価格			式		1					
消費税相当額			式		1					
業務費計			式		1					